

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成25年5月2日(2013.5.2)

【公開番号】特開2010-262268(P2010-262268A)

【公開日】平成22年11月18日(2010.11.18)

【年通号数】公開・登録公報2010-046

【出願番号】特願2010-65093(P2010-65093)

【国際特許分類】

G 09 G 3/36 (2006.01)

G 09 G 3/20 (2006.01)

G 02 F 1/1333 (2006.01)

G 02 F 1/1368 (2006.01)

G 02 F 1/1345 (2006.01)

G 02 F 1/1335 (2006.01)

【F I】

G 09 G 3/36

G 09 G 3/20 6 9 1 D

G 09 G 3/20 6 4 1 C

G 09 G 3/20 6 2 4 B

G 02 F 1/1333

G 02 F 1/1368

G 02 F 1/1345

G 02 F 1/1335 5 0 5

【手続補正書】

【提出日】平成25年3月13日(2013.3.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

マトリクス状に配置され感知信号を生成する光感知部、前記感知信号の出力を制御するために走査信号を伝達する感知走査線、及び前記走査信号に従って前記感知信号を伝達する感知信号線を含み、2つ以上の感知走査線に同一の走査信号を同時に印加する情報認識基板と、

マトリクス状に配置された複数の画素電極、前記画素電極にそれぞれ接続された複数のスイッチング素子、前記複数のスイッチング素子に接続されたスイッチング走査線、及びスイッチング信号線を含むスイッチング基板と、を含むことを特徴とする情報認識表示装置。

【請求項2】

前記感知走査線及び前記感知信号線に対応する位置に前記スイッチング走査線及び前記スイッチング信号線が配置され、前記感知走査線及び前記感知信号線と前記スイッチング走査線及び前記スイッチング信号線とが相互にオーバーラップしていることを特徴とする請求項1に記載の情報認識表示装置。

【請求項3】

前記感知走査線の個数は、前記スイッチング走査線の個数より少ないことを特徴とする請求項2に記載の情報認識表示装置。

**【請求項 4】**

前記感知信号線の個数は、前記スイッチング信号線の個数より少ないことを特徴とする請求項 2 に記載の情報認識表示装置。

**【請求項 5】**

前記スイッチング基板は、カラーフィルタをさらに含むことを特徴とする請求項 1 に記載の情報認識表示装置。

**【請求項 6】**

前記カラーフィルタの間に遮光層をさらに含み、前記遮光層と前記感知信号線とが互いにオーバーラップすることを特徴とする請求項 5 に記載の情報認識表示装置。

**【請求項 7】**

前記情報認識基板は、前記複数の画素電極とともに液晶分子の動きを制御するための共通電極をさらに含むことを特徴とする請求項 6 に記載の情報認識表示装置。

**【請求項 8】**

2つ以上の前記感知走査線が互いに電気的に接続されていることを特徴とする請求項 1 に記載の情報認識表示装置。

**【請求項 9】**

前記感知走査線に走査信号を印加し、前記情報認識基板の第 1 面に電気的に接続された第 1 感知走査部及び第 2 感知走査部と、

前記光感知部のうち、前記第 1 感知走査部に電気的に接続された第 1 光感知部から第 1 感知信号を受け、前記情報認識基板の第 2 面に電気的に接続された第 1 光判読部と、

前記光感知部のうち、前記第 2 感知走査部に電気的に接続された第 2 光感知部から第 2 感知信号を受け、前記情報認識基板の第 3 面に電気的に接続された第 2 光判読部とをさらに含むことを特徴とする請求項 1 に記載の情報認識表示装置。

**【請求項 10】**

前記第 1 感知走査部と第 2 感知走査部とは、それぞれ同一の走査信号を同時に前記感知走査線に印加することを特徴とする請求項 9 に記載の情報認識表示装置。